

の体育館を整備することで、総合的な環境整備や複数施設の老朽化への対応など、市が抱える課題を解決することにつながります。

また、総合運動公園は小林インターチェンジから近く、スポーツ合宿や大規模大会の誘致、災害時の自衛隊や緊急援助隊派遣要請の際に、県内外からのアクセスも向上することから、この場所が選ばれました。

複合化する施設たち

今回、複合化するの「市民体育館」、「中央地区体育館」、「新別館（保健センター）」、「みどり会館」、「勤労青少年ホーム」の5施設。いずれも築30年以上経過し、中には建築から90年近く経過した建物も。これら5つはそれぞれに使用目的が違う施設です。

これらの老朽化が進む施設を合わせて、一つの施設として新市民体育館を整備することで、5施設の総延床面積が整備前よりも縮小され、整備費用の縮減を図ることができます。

加えて、多機能で幅広いニーズに対応した施設となることから、利用率が向上し、幅広い年齢層の新たな活動や交流機会の創出にもつながることが期待されます。

健幸のまちづくり拠点施設整備

つうしん

拡大版！



外観イメージ図



内観イメージ図

令和5年1月号から連載している「健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん」——

今号では、令和8年3月に総合運動公園内に完成を予定している「健幸のまちづくり拠点施設（新市民体育館）」の必要性や備えている機能、スケジュールなどについてお知らせします。

●問＝建設課 Tel 23-0311

新市民体育館を建てる

市では、新しい公共施設として健康づくり機能、子育て支援機能、避難所機能を備えた複合型の新市民体育館「健幸のまちづくり拠点施設」を総合運動公園（南西方十三塚）内に建設します。

これは、築50年が経過し、老朽化が進む現市民体育館の移転整備に合わせ、近い将来に老朽化対策で整備が必要となる施設を集約して「複合化」するためのものです。

新市民体育館は総合運動公園に建設

総合運動公園には、さまざまなスポーツ競技や健康づくり・レクリエーション活動ができる環境が既に整っています。

そこに健康づくり機能や子育て支援機能を備え、災害時には大規模避難所として使用できる複合型

おしえて！

新市民体育館建設

Q & A

Q なぜ今の場所ではなく運動公園内に建設するの？

A 現市民体育館（中央公民館横）の位置に建設する場合、建設中の災害時の対応などに不安を抱えることとなります。また、総合運動公園内に建設することで、さまざまなスポーツ活動の拠点ができ、公園機能を活用した子育て支援などの事業展開の可能性も広がることや、国の補助金が活用可能となることなどから、総合的に判断しました。

Q 新市民体育館の建設にはどれくらいのお金がかかる予定なの？
また、市の負担はいくら？

A 設計・施工、備品購入などを合わせ、整備費用は約52億円になる予定です。

この新体育館整備は、国の「モデル公園形成支援事業補助金」の採択を受けたことで整備費用の半分近くとなる約24・5億円を補助金で賄える予定です。

また、残りの市が負担する費用のうち、市が借入れを予定している約22億円にも国からの財政援助があるため、市の実質的な負担額は、約16・5億円となる見込みです。

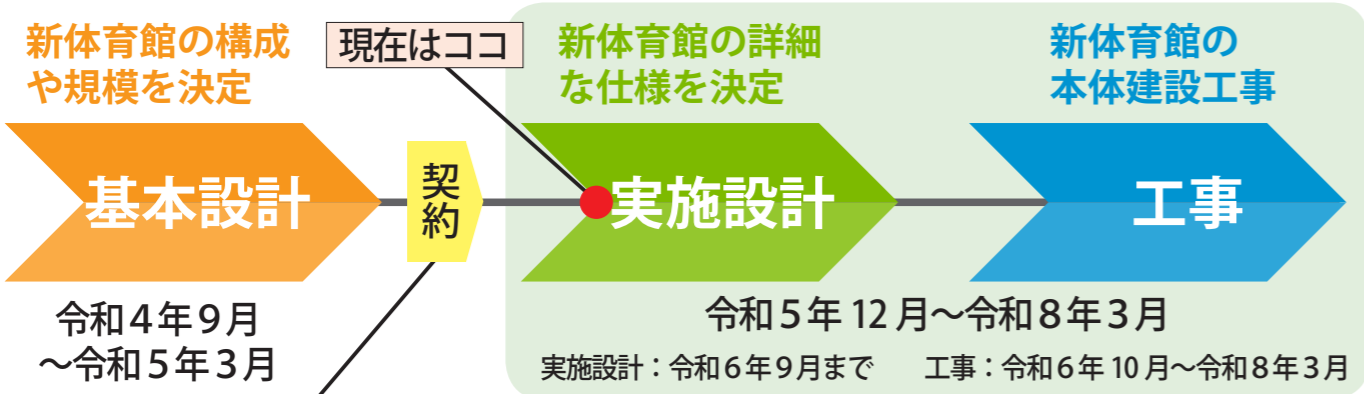
今後も整備を進めながら、市の負担が軽減できるよう新たな財源の確保に向けて取り組んでいきます。

Q 複合化する施設たちはどうなるの？

A 複合化する施設は、新体育館利用開始後5年以内に廃止（解体、売却など）する計画ですが、現在検討中です。決まりましたらお知らせします。

Q 複合化する施設にある市の部署はどうなるの？

A 新市民体育館には、現在のスポーツ振興課、健康推進課、こども課の一部が入り、スポーツ・健康づくり・子育て支援などの拠点となる予定です。



新市民体育館の建設業者が決定しました

複合型新市民体育館の建設に向け、11月10日に「小林市健幸のまちづくり拠点施設整備事業デザインビルド※委託事業者プロポーザル選定委員会」を開き、最優秀提案者を決定。12月議会定例会の議決を経て12月19日に契約を締結しました。

※工事や設計業務などを発注する際に、設計と施工の両方を単一業者に一括して発注する方式のこと

■審査経緯

プロポーザル※には2者から参加表明があり、1者が提案書を提出。選定委員の評価点数を平均し、最優秀提案者を選定しました。(得点：70.26点)

※事業者選定方式のひとつで「企画競争入札」ともいう。不特定多数の企業の中から定められたテーマの企画書・提案書などの提出を求め、最も適した提案をした企業を契約の相手とする方式のこと

■最優秀提案者

- ・小林市健幸のまちづくり拠点施設整備共同企業体

【共同企業体構成員】

前田建設工業(株)九州支店(福岡市) / (株)坂下組(小林市) / 坂口建設(株)(小林市) / (株)内藤建築事務所九州事務所(福岡市) / (有)臣建築設計事務所(小林市)

■契約金額 45億7490万円

地域経済への影響も大きい！

決定業者の提案には地域経済の活性化も。工事に関する施工、業務、物品、職員・作業員の滞在中の生活品等の調達、現業員採用については、小林市内の企業から優先的に調達することとしています。

11億4900万円

※地域発注予定金額(税抜き)

上記に加え、市内企業と共同企業体を組成したことで、建設工事の請負金額50%を市内建設会社2社、設計・工事監理の契約金額の20%を市内設計事務所1社が受託します。

小林市健幸のまちづくり拠点施設(複合型体育館)整備に関するパネル展示説明会開催のお知らせ

【小林地区】

- 日時 2月4日(日曜)～2月6日(火曜) 9時～12時 13時～16時
- 場所 小林市役所1階交流スペース

【野尻地区】

- 日時 2月9日(金曜)～2月11日(日曜) 9時～12時、13時～16時
- 場所 野尻庁舎1階ロビー横会議室



【須木地区】

- 日時 2月16日(金曜)～2月18日(日曜) 9時～12時 13時～16時
- 場所 須木総合ふるさとセンター1階ロビー



公園内の複合型体育館

総合運動公園という立地を生かし、誰もが利用しやすく、「スポーツ」「健康づくり」「子育て支援」が連携する複合型の体育館になります。

新体育館の主な概要

- 敷地面積 約241,000㎡(小林総合運動公園全体)
- 延床面積 約6,160㎡(1階約4,695㎡、2階約1,465㎡)
- 階数 地上2階
- 駐車場 思いやり駐車場8台を含む約500台分

アリーナ機能の主な概要

- アリーナ、観覧席ともに全館空調を完備
- 観覧席は、四方に約800席設置。臨場感高まる観覧が可能に
- 2階には1周200mのランニングコースを完備。雨天時などでも利用可能
- エレベーター完備でバリアフリーに対応
- バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン6面、ハンドボール1面ができる競技スペースを確保



DXの推進

広く健康意識や運動意欲を拡散できる情報発信設備を整えるなど、デジタル技術を活用することで利便性の高い施設になります。

アリーナにAIカメラを整備

試合のルールを学習し、選手とボールの動きやコートラインを認識して映像を自動で撮影・編集。インターネット経由でライブ配信やアーカイブ配信が可能になります。



※イメージ

巡回警備ロボットを計画

設定された範囲を自律走行し、子どもの見守りや不審者の検知などを行います。センサーや映像解析技術を使い監視を行うことで、人の目では分からない異常も検知。24時間体制の警備も可能になります。



※イメージ



災害に強い防災拠点

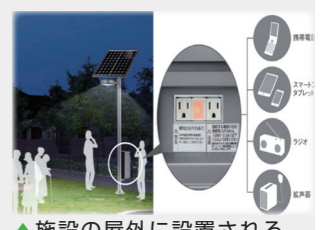
小林市最大の指定避難所かつ救助活動拠点として、「いつも」市民に開かれ、「もしも」の際には市民を守る、頼りになる施設です。

安全で過ごしやすい避難スペース

広々としたメインアリーナは避難スペースに。会議室も予備避難スペースとして多くの人々が安全に避難できるようにします。空調・照明設備は停電時でも使用可能で、避難者が快適に過ごせる空間です。

必要な設備や物資の提供

体育館内に必要備品を備蓄し、屋外空間では炊き出しが可能なスペース、かまどベンチ、充電可能なソーラー外灯、マンホールトイレなどを設置して災害時に利用できるようにします。



▲施設の屋外に設置されるソーラー外灯イメージ(スマートフォンの充電などに使用できます)



内観イメージ図